

池田いいとこ新聞

井風呂谷川砂防公園



むかし、高梁川では船をつかっていろいろなものを運んでいました。見延村では、山の木をたくさん切って売りにだしていたため、井風呂谷川のまわりで山くずれがおこり、大雨のときには田や畑が流される災害が発生しました。そのため、今から約、百三十五年前に、岡山県が全国で初めて砂防工事(山の土や砂がくずれないようにする工事)をするように。との命令をだしました。この工事により、その後は災害がなくなりまし。今では、国の「有形文化財」という宝物に指定され、公園となりました。公園には「砂防発祥

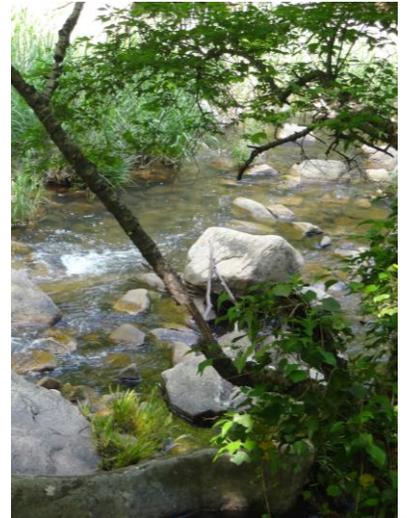
の地」と書かれた大きな石がおかれています。

湯の頭山薬師堂



「湯の頭山薬師」が本当のん名前。やくしによらいという目の病気をなおす仏様がまつられている。千三百四十年くらい昔に、親こう行な子どもが、病氣のお母さんにこの地の池の水をくんで飲ませたところすくなおった。とか、吉備津彦命という神様が温羅というオニをたいじした。などの伝説があるとところ。昔はあちこちからおとずれていたとか。また、温泉が出ていたといわれ、今でも少しだけ白い水がわき出ています。

豪溪



「豪溪」とは、大きくて力ずよくすばらしい景色のこと。大きく天にもとどくような岩と、楨谷川きれいな水の音が聞こえることから、大正十二年に「国指定名勝から多くの病氣の人が地になりました。岩の表面に「天柱」という文字がほられています。小学校の校歌「楨谷川の水きよく日いずる豪溪のさんがのれいきころ」ところ」は、この豪溪が歌にされています。春は桜、秋にはもみじを見にとうくから多くの人々がおとずれています。

感想

新聞を作ってみて池田のいいところをたくさん見つけられたとおもいました。このなかで湯の頭山薬師堂にはいったことがないので行ってみたいとおもいました。